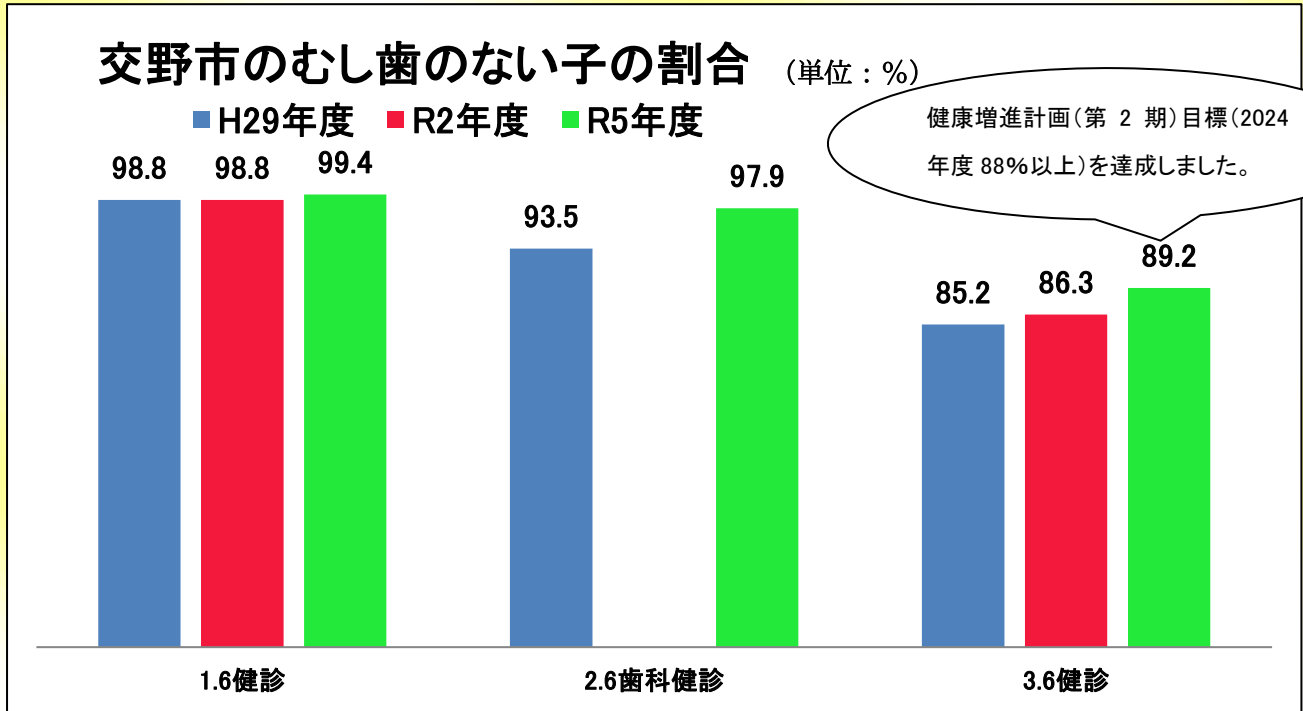




# 交野市のこどもの歯の様子

交野市では1歳6か月児健診、2歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健診でお子さんの歯科健診とお口に住む、むし菌の元気よさを調べるCAT(ツ-イー-ティー)検査を実施しています。

※3歳6か月児健診では、CAT検査は行っていません。



※2.6 歯科健診は令和2年度はアンケート健診のため、データなし。

## むし菌になりやすい生活習慣(歯のアンケート集計結果と歯科健診結果より)

### 3歳6か月児健診

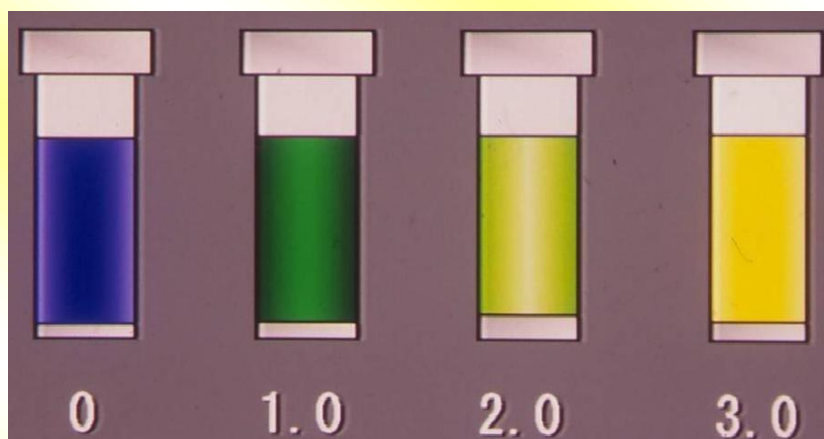
- 仕上げ磨きをしてもらっていない子はしてもらっている子に比べ**4.7倍**むし菌がありました。
- 食事をしっかり食べていない(“むらがある”を含む)子はしっかり食べている子に比べ**3.3倍**むし菌がありました。
- おやつの遊び食べをする子はしない子に比べ**2.1倍**むし菌がありました。

だらだら飲食する習慣がむし菌になりやすい要因となっています。  
仕上げ磨きは歯が生えはじめた頃からの練習の積み重ねが大事です。  
痛くない工夫をしながら、毎日少しずつ練習をしていきましょう。



## ☆CAT（シーエーティー）検査とむし歯予防について

CAT検査はお子さんのお口の中のむし歯菌が、砂糖（ショ糖）がある時に作りだす酸がどれくらい強いのか（攻撃力）を調べるテストです。口の中と同じ状態をアンプルの中で再現し、48時間後の試験液の色変化によりむし歯になりやすさを判定します。ただし、CAT（シーエーティー）検査の結果が黄色に近いからといって必ずむし歯ができるわけではありません。それはなぜかというと、むし歯は攻撃力（むし歯を作ろうとする要因）>防御力（歯を守ろうとする要因）となった場合にでき始めるため、防御力を高め、攻撃力を弱めることで予防が可能だからです。



弱い酸  
（歯が溶けにくい）



強い酸  
（歯が溶けやすい）

### 防御力

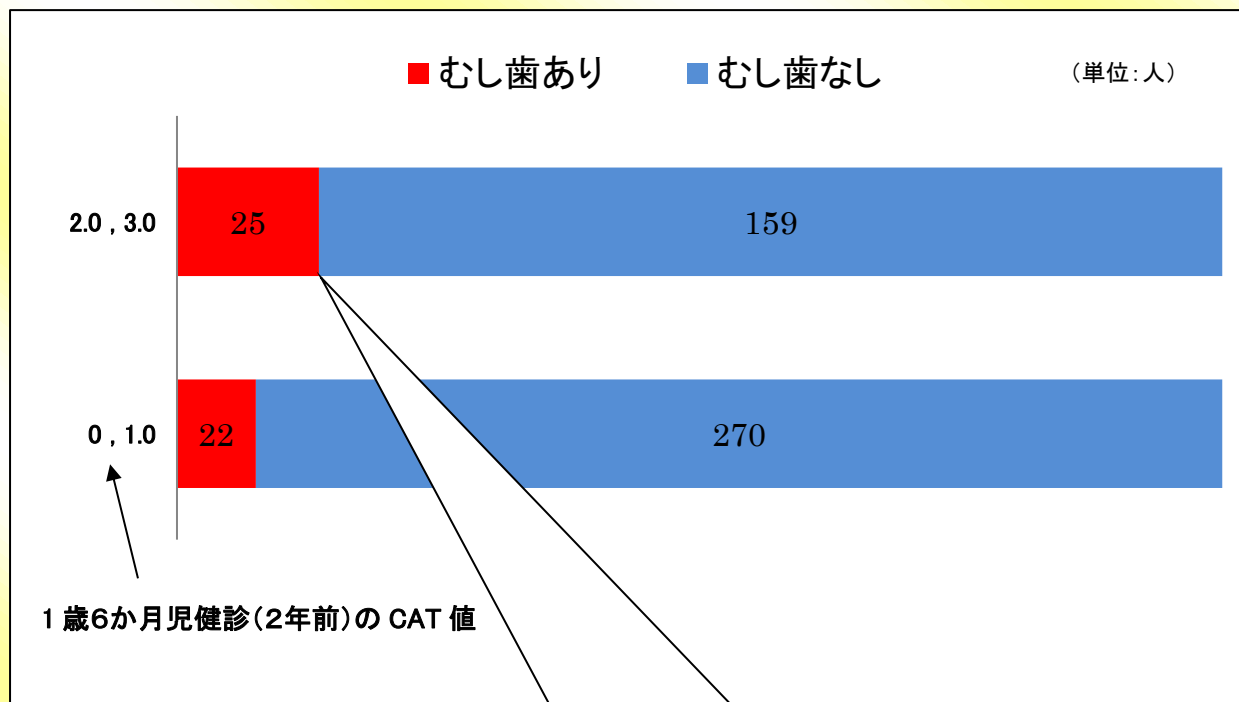
- 唾液の分泌量（よく出ている）
- 唾液緩衝能（酸を中和する力）
- よく噛んで食べる
- 規則的なライフスタイル
- 仕上げ磨きの習慣がある
- 家庭でのフッ化物素入り歯磨剤等の利用
- 歯科医院での定期的なフッ化物塗布

### 攻撃力

- むし歯菌の数（多い）
- おやつ遊び食べ
- ジュースやイオン飲料などを頻回に飲む（哺乳ビンで与えるのは特にハイリスク）
- 歯が生え揃い、離乳食完了後も頻回に母乳を飲んでいる
- 不規則的なライフスタイル
- 仕上げ磨きの習慣がない

☆令和5年度3歳6か月児健診むし歯の状況

(1歳6か月児健診時(2年前)CAT検査結果での比較)



CAT値 2.0,3.0 のむし歯菌の攻撃力が強かったお子さんの方が、2年後の3歳6か月児健診でむし歯の割合が高い結果ですが、1歳6か月児健診後、生活習慣の見直しで、むし歯なしとなるお子さんも多いです。

交野市では、むし歯のハイリスクのお子さんを対象にお口のチェック、歯みがき指導などの教室(ピカピカ教室)を開催しています。【予約制】  
対象者には、個別通知しますのでご参加ください。

